

内視鏡下脊椎手術のご案内

2025 年 8 月吉日

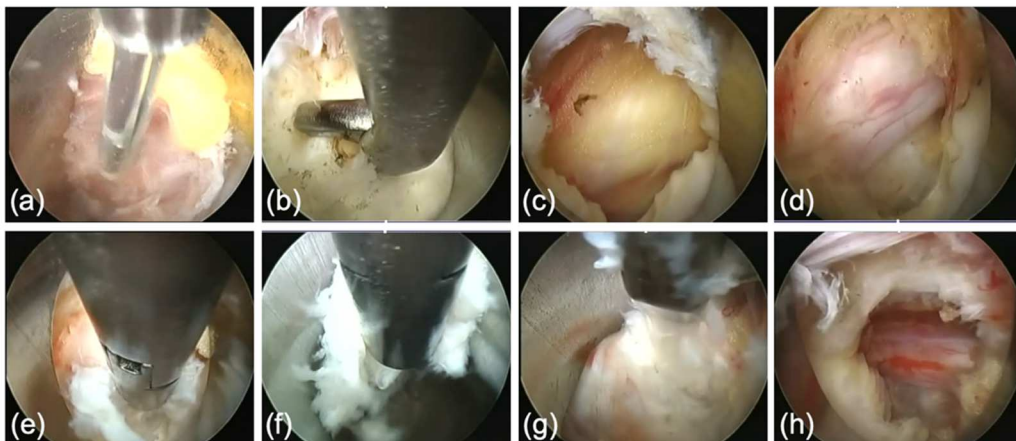
腰や背中痛み、手指のしびれや動きにくさ、足の痛みとしびれや歩きにくさなどの症状は脊椎の病気が原因であることが多く、手術が必要なこともあります。堀川病院整形外科では従来から体に負担の少ない脊椎手術を目指し、独自の方法である棘突起縦切片側切離進入法（HSS）などを用いて手術を行っております。今回、これに加え全内視鏡下脊椎手術（FESS）と経皮的椎体形成術（BKP）を行うことにしました。執刀は、2025 年 4 月より当院整形外科に着任いたしました福原大祐医師が担当いたします。福原医師は、京都府立医科大学を卒業（H30）し、同整形外科教室と洛和会丸太町病院で整形外科医の基礎を学んだ後、日本医科大学に 3 年間の国内留学を行い、主に FESS を中心とした脊椎外科手術の研鑽を積み、今春より京都に戻ってまいりました。

○全内視鏡下脊椎手術（Full-Endoscopic Spine Surgery, FESS）

腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症に対して、最小限の皮膚切開で行う低侵襲手術であり、術後の回復が早く、日常生活への早期復帰が期待できます。また、頸椎椎間板ヘルニアや頸椎椎間孔狭窄に対しても適応することができる手術手技です。

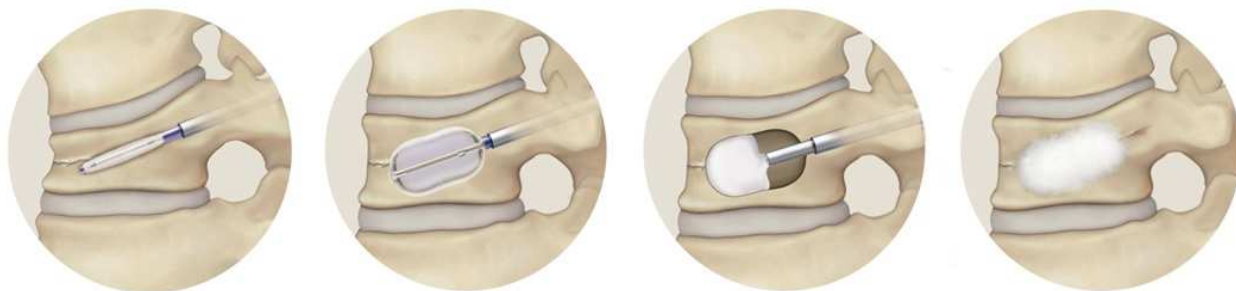


RIWO SPINE 社より提供



○経皮的椎体形成術（Balloon Kyphoplasty, BKP）

骨粗鬆症性椎体骨折による疼痛に対して低侵襲かつ即効性のある治療法であり、早期離床や入院期間の短縮が期待できます。不安定性が高度な症例では経皮的椎弓根螺子システム（PPS）を併用することで、低侵襲に安定性が確保できます。



メドトロニックソファモアダネック株式会社より提供

詳しく検査を行い、お困りの症状の原因を明らかにし、その結果を丁寧に説明いたします。まずは受診をしていただき、お困りの症状をお聞かせください。脊椎外来は茶谷（火曜日）と福原（水曜日）が担当しております。

堀川病院 院長 茶谷 賢一